

特許調査・解析・知財評価サービスについて

こんな時、どこへ相談しますか

ベンチャー企業B社に投資してみようか…

? B社は、他社の特許を踏んでいないと自己申告して来たが本当か。

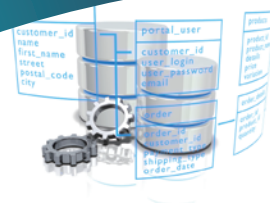
新規ビジネスに関して技術力に優れているという評判のA社と提携しようか…

? A社は、本当に技術力があるのか。

当社の○△技術を評価してくれる会社はどこだろう…

? 当社の○△技術と組むことによるシナジー効果が生まれる会社はどこか。

特許データは企業の技術的な本音が反映された公式な大規模データベース (Bigdata)



この特許 Big Data を分析すると…

- ・相手の自己申告にうそはないか → 特許情報を分析すると企業の本音があぶりだされる
- ・対象技術は本当に競争力があるのか → それはどのような土俵での競争力か
- ・市場にどのような競合会社がいるのか → 潜在的な競合会社が見えてくる
- ・他社の市場参入を十分阻止できているのか → 特許ポートフォリオの確認
- ・技術の動向 → 新聞等と言われている「動向」が正しいか見えてくる
- ・対象技術は将来的にも有望か → 代替技術の可能性（他社の動向を探る）
- ・どのようなアライアンス先があり得るのか → シナジー効果の高い販売先の探索

Service

以下の特許調査・知財評価を行います。

1 全体構図分析 (Landscape)

- ・お客様の保有される特許の位置付け把握
- ・お客様の特許、競合先の特許の相対比較
- ・技術動向の分析、等

30 万円～

2 特許侵害調査 (Freedom To Operate Search)

- ・お客様の実施製品／サービスが踏む可能性のある他社特許の確認（ないことの確認）

30 万円～

3 特許無効調査 (Invalidation Search)

- ・お客様の特許を無効化する文献調査
- ・判明している他社問題特許を無効化する文献の探索

25 万円～

4 知財の価値評価 (Evaluation / Valuation)

- ・お客様の知財の価値を定性的、定量的に評価

30 万円～

5 デューデリジェンス (Due Diligence)

- ・お客様の保有する、又は関係する企業の知財の総合評価 (1～4 含む)
- ・ビジネス環境面の評価
- ・今後の知財戦略及び事業展開のコンサルティング

70 万円～

正林国際特許商標事務所にお任せ下さい。当所では次の陣容で案件に取り組みます。

【特許調査】審査官・審判官 OB（各分野、計約 10 名）

【価値評価】MBA 保有者、裁判案件評価鑑定人

【知財戦略等】技術系弁護士、企業知財部 OB

詳細は、裏面をご覧ください。

特許に関する分析の流れ（例）

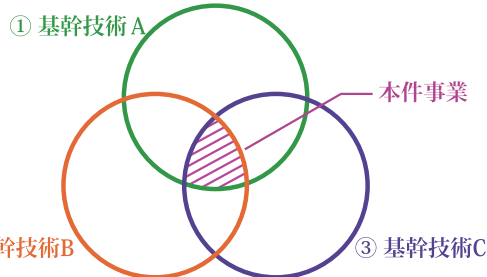
対象会社の事業内容及び 基幹技術（領域）を把握

把握した基幹技術に関連する特許分類（IPC、FI記号、Fターム）を特定

特定した特許分類等を用いた特許検索（母集団設定）

設定した母集団に含まれるプレーヤー、対象会社の特許ポジション等に基づいて、本件事業及び基幹技術に関する特許の概要を把握

基幹技術に関連するプレーヤーと基幹技術の周辺技術を把握できるので、対象会社はどこのポジションにいるのか？
競合他社が多数存在するのか？
リーディングカンパニーとなる可能性が高いか？
等が明確に見えてきます。



作業成果物イメージ

- 1 事業内容及び「技術領域」の把握
- 2 「技術領域」に関連する調査母集団の特定（調査国、検索式）
- 3 対象会社の技術の競合各社に対する位置付け、強み・弱み

(1) 全体構図分析

- ① 全体概要、競合メーカ（新規競合先）の特定、出願件数推移・特徴、発明者の推移等
- ② 特許面から見た技術の流れ・動向の解析（非特許情報も参照）
- ③ 対象会社の重要特許の特定（審査での引用、被引用状況より）
- ④ 周辺技術・関連技術に関する分析
- ⑤ 対象会社と各競合メーカとの強みの対比、分析
- ⑥ テキストマイニングによる各特許のキーワード抽出（数理システム社 Text Mining Studio 利用）をすることで、特徴の比較・推移の分析
- ⑦ 商標の動向、商標と特許の関連性等の分析も可能

(2) 特許侵害調査

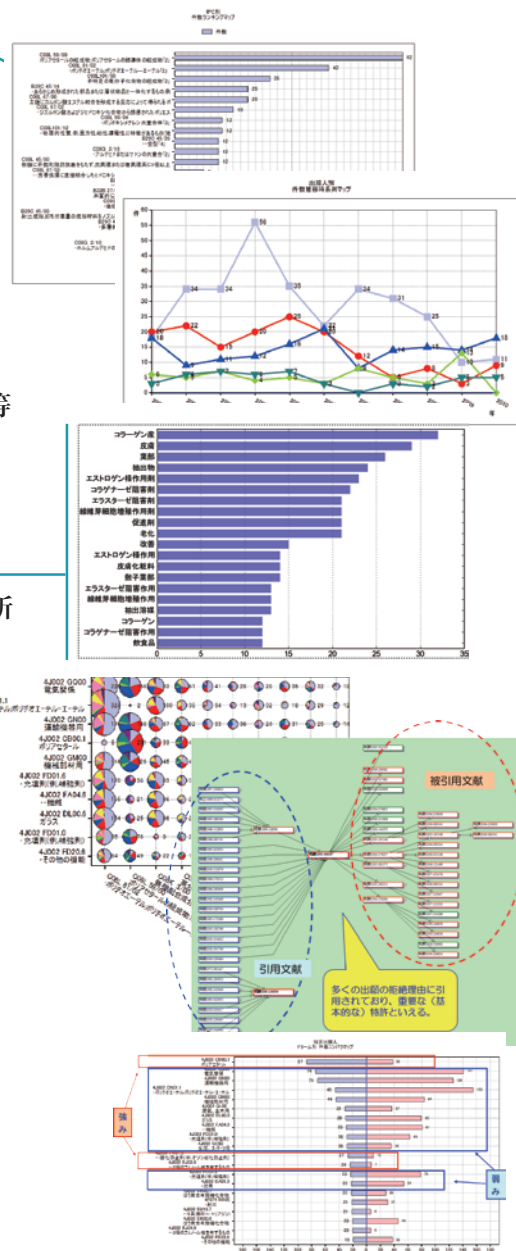
(3) 特許無効調査

4 事業内容に関連する関係者間、他社との既存契約の検討

契約・ビジネス環境面の分析、課題抽出、課題に対する対応案のご提案

5 今後取り組むべき課題の抽出、知財戦略の策定

- ① 対象会社の保有特許・特許出願の評価（例えば、誰にとって最も価値が高いかという観点より）
- ② 知財面における課題及び知財戦略（案）のご提案・競合メーカの動向を含めたビジネス状況を睨んで世界展開を想定・特許の延命策、ノウハウ活用、商標活用を含めた長期的優位性確保の観点



ご依頼から4～5週間で納品致します。3週間目処に中間報告会を行います。

連絡先：正林国際特許商標事務所（SIPTO）TEL:03-6895-4500 FAX:03-6895-4511
杉浦伸夫：sugiura@sho-pat.com、鶴本祥文：yoshifumi.tsurumoto@sho-pat.com